

モラトリアムの  
走性



R18



あ、  
学校？

このふしだらで  
ろくでなしの

この家の一人息子  
高尾和成が

マジメ  
だねえ

そして  
この屋敷には

住み付いている

なんだよ





そういう君は  
また朝帰り  
ですか？

名家の子息が  
聞いて  
呆れますね

悪いね、  
俺色男な  
もんで



この男、  
女遊びだけで  
飽き足らず

まあでも  
今日は

おとなしく  
家になようかな

遊女のように  
恥ずかしげもなく  
男を渡り歩く毎日

挙句、こうして  
僕をからかって  
楽しんでる



わあ

今夜お前が  
相手して  
くれんなら♡

そんな彼を  
僕は軽蔑している

ふ、ふざけ  
ないで  
ください！

ははっ  
冗談だよ



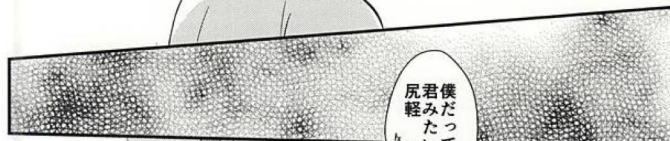


ま、安心しな  
俺、おまえに  
興味ないから



ドーター君ってのは  
下手クソで  
ねちっこいからさ

マジ  
ごめんだわ



僕だって  
君みたいなの  
尻軽



ガッ

お断りです

そう、僕は彼を  
心底軽蔑している

軽蔑している  
はずなのに

それに僕…

童貞じゃ  
ないんですけど

彼のしぐさが、  
表情が、  
着物から覗く肢体が  
僕の心を  
惑わせるのだ



いたんですか  
めずらしいか

おっ!  
おかえりー!

ガラガラ



見慣れないパイプ...

おとなしく、  
ね...



キラ



おいおい、  
言っただろ？  
今日はおとなしく  
家にいるってさ

はあ...



あーらら  
ばれたか



どうせさつきまで  
男を連れ込んで  
しつぽりやって  
たんでしょう？



どうせそんな  
こだらうと  
思いましたよ

まあまあ  
それよりさ

俺、今から  
風呂に入るから  
背中流して  
くんない？

は？

丁重に  
お断りします



おいおい、  
俺はここの主で  
お前は居候だぞ

う…



わかり  
ました

うわあ…



優しく  
洗えよ







派手にやられ  
ましたね

わしゃ  
わしゃ

手いっぱい

今日来たやつが  
人の身体に  
傷つけるのが  
好きな性癖でさ

俺のきれいな  
背中が傷だらけよ



べつに  
聞いてません

うわ  
つめてえ



まったく、  
自業自得じゃ  
ないですか

IA





えらいねえ

あれ？  
今日学校は？  
休み？

休みの日も  
勉強してんの？



いえ、これは  
小説を書いて  
いるんです



実は僕  
物書きに  
なりたくて

こうして  
休みのたびに  
書き溜めて  
小説家の先生に  
時々添削して  
もらってるんです

ふん…



偉い小説家の先生になつて

女の子  
いっぱい困つて暮らそうってか？

君はどうしてすぐそういう発想になるんですか？

う…  
ていうか、君も少しは教養を身に着けたらどうですか？

君、この家の跡継ぎでしょう？

あくえつと…  
俺はいいんだ

別に俺、この家継がないし…

は…？



や、マジで

高尾君ねえ、  
流石にそんな  
我儘が通るわけ…

俺  
実はさ…

妾腹の子  
なんだよ

え？

俺は親父が  
どこの遊女に  
産ませた子でさ

8つのときに  
母親に捨てられて  
ここに貰われて  
来たんだけど  
親父の本妻に  
目の敵に  
されてさ

そりゃそうだよな  
遊女の子なんてさ

ただそれでも、  
たった一人

兄さんだけは  
俺を受け入れて  
くれたんだ！

だけでも、俺がここへきて3年とたたないうちに

母親が誰でも関係ないお前は俺の弟だ堂々としている

兄さんは流行病で死んでしまった

そしたらお前が災いを運んできた疫病神だったって

この離れに追い出されてさ

ここに独りでいてもつまんねえから遊び歩くようになって

今じゃ女と寝るのも男と寝るのも気持ちいいからやめらんなくなつた

そうか、この人はただ、はは、

結局、売女の子は売女ってことさ

ぬくもりに飢えているんだ

ま、この家は  
妹ちゃんが  
立派な婿さん  
貰って継ぐし

心配いらないっしょ

ただ、誰でもいいから  
自分を求めてくれる  
相手を欲している

それなら  
いっそ僕が…

よっと…

俺もう行くわ

悪かったな  
全く関係ないお前に  
変な話聴かせて

小説、がんばれよ

ガッ

待って  
ください！



誰のところへも  
行かせません!

お、おい…

今日は  
どこへも



おい!  
何言って…

やめ…っ



いって…っ



君は自分が  
気持ちよければ  
相手がだれでも  
いいんでしょ？

だったら僕でも  
いいですよ？

よくない！  
離せよ！

冗談じゃない！

俺はお前に  
興味なんかない！

言ったら!?  
ドーテー君とは  
絶対にしねえ！

ビッ  
タ  
バ  
タ



そういうことなら  
問題ありません

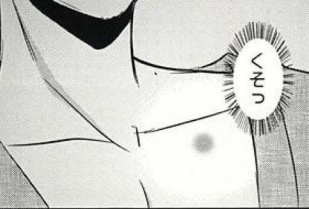


童貞では  
ありませんから

僕、故郷では  
恋仲になった  
女性もいましたし



そ、それでも  
お前とは絶対に  
いやなんだ！





うう…

く…っ  
ふ…っ…ッ



グイグイ

いらて…っ

いってえよ!



男は女みてえに  
濡れないんだぞ!

無理やりすんな  
バカヤロウ!

ああ、  
そうか…





ブツ  
ブツ

あっ、あっ  
うああっ！

ブクン  
ブク

ブツ  
ブツ

ブツ  
ブツ

すこ…  
吸いつく…



ブツ  
ブツ

ブツ  
ブツ

もう随分  
よさそうじゃ  
ないですか

うああっ  
ああっ—！

ブツ





なんで  
こんなこと  
したんだよ

俺は嫌だって  
言ったよな？

なの  
にこんなの  
ゴエカンじゃ  
ねえかよ



僕は謝る気は  
ありません

ハア!?  
ふざけ……ッ

不愉快、  
なんですよ

自分の哀れな  
生い立ちを理由に  
自堕落な生活をおくる君が



だから  
ほっとけって  
言ってるだろ！

お前には関係  
ないじゃん！

そうやって君が  
僕を拒絶する  
からでしょう!?

他の男には  
自分から  
擦り寄るくせに





もう  
これ以上  
僕ばかりが君に  
かき乱されるのは  
嫌なんです

くろ……

だからもう  
やめてください



百人の男に  
抱かれる  
くらいなら

百回僕に  
抱かれろよ



ふざけんな……

なんだよ  
それ……  
俺の気持ちには  
無視かよ……





てゆーかそもそも  
お前の方が俺を  
嫌ってたんじゃん

ち、違う！  
逆だバカ！



だから…  
こんな…

けど俺は！

黒子のことが  
好きだから



他の相手みたいに  
一時的性欲を満たすため  
だけにされるのは

つらい…

嫌われてるって  
わかってるって

本当に

君はバカです

僕だって  
好きじゃ  
なかったら

男の君を  
抱いたり  
しません！

これからもう

他の誰も君に  
触れてほしく  
ないです



だったらさ…

接吻  
してよ…

俺、こっちはまだ  
誰もしたこと  
ないから！



ちゅ…

はじめは  
黒子がいい

黒子と  
したい…



はい…



黒子のバスケ  
非公式ふぁんぶっく  
黒子テツヤ×高尾和成